

気候変動研究計画に関するシンポジウムのお知らせ

主催 日本学術会議地球物理学研究連絡委員会（付置：世界気候小委員会）、日本気象学会、日本海洋学会、日本雪氷学会、日本地理学会、文部省科研費環境科学特別研究「気候変動と人間活動」検討班（以上予定）

後援 気象庁

日時 昭和56年2月9日（月）13時～17時

会場 日本学術会議大会議室

次第

- ① 開会の辞 山元龍三郎（京大・理学部）
 （司会）浅井富雄（東大・海洋研）
 ⑦ 気候の診断 朝倉正（気象庁）

(i) 気候のモデリング 片山昭（気象研）
 （司会）田中正之（東北大・理学部）

(ii) 気候形成過程の観測

(a) 海洋混合層と熱輸送

高野健三（筑波大・生物科学系）

(b) 雲と放射、地表・大気間の交換過程、大気中の微量気体とエアロゾル

武田喬男（名大・水圏研）

(c) 南極気候観測 前晋爾（極地研）

(iv) 気候データベース 内田英治（気象研）

② 総合討論

③ 閉会の辞 岸保勘三郎（東大・理学部）

第3回気水圏シンポジウムのお知らせ

期日 昭和56年1月13日（火）、14日（水）
 10時00分～17時00分

場所 国立極地研究所講堂
 （東京都板橋区加賀1-9-10）

講演内容 1) POLEX NORTH（北極域観測計画）関係
 2) POLEX SOUTH（南極域観測計画）関係
 3) POLEX 極域数値実験計画関係
 4) 南極エアロゾル、降雪粒子

5) 境界層、大気循環

6) 堆雪、他

以上のテーマに関係して36編の講演発表が予定されている。

多数の方の御出席をお待ちします。御意見、御問合せがあれば、下記に御連絡をお願いします。

国立極地研究所 気水圏シンポジウム係

〒173 東京都板橋区加賀1-9-10

電話 03 (962) 4711 内 413, 433